

[24_02]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470188>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 24 (2), 1991-03-15. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

編集後記

ユーザーの皆さん、広報・センターニュースを活用されていると思いますが、目次の検索に時間を取られることはありませんか？

そのようなときは、目次の検索コマンド「KOH O」がとても便利です。使用方法はいたって簡単。たいして計算機を使えない私でも気軽に使えるコマンドです。

詳細は、センターニュースNO. 407に掲載していますので、ご存知の方も、そうでない方も是非ご利用下さい。(T子)

日本全国を襲った寒波も峠をすぎ、春の息吹はそこここに。先日、華材(生け花の材料)の桜の蕾があまりにも堅いので、計算機の発熱で一日中暖かい部屋に一晩おいておくであっという間に花卉が見えてきて2日後には一斉に満開になってしまいました。自然の営みって本当にすごいですね。植物って本当に素直ですね。春、春、はやく来い。

三月は卒業のシーズン、我が家の娘もやっと小学校を卒業します。お別れの親子レクレーションが寒波の真っ只中で行われました。最初は子供の招待状に従って、感謝の意を込めた子供手作りのサンドウィッチとあったかい紅茶の昼食会の筈でしたが、挨拶の後では最高温度が0度Cという寒波も手伝って冷めてしまい、体もしんしんと冷えてくるのがわかります。サンドウィッチも短時間で作ったせいか日頃では絶対お目にかかれぬ代物でした。先生曰く「お父さん、お母さん、胃薬はお持ちですか？」これはちょっと子供達に失礼ですよ。でも作っているところを見られた先生ならではの本音かも！

それでも体育館には班毎に机が運ばれ花が生けられ、それぞれきちんと名前の書かれた三角錐、いろんなメッセージの書かれた色とりどりの手製のナプキン、体は冷えきっていましたが心がこもっていて暖かいものがいっぱい。クイズや演奏なども披露してくれました。

食事の後は綱引き、三人四脚、百足競争、借り人競争etc.親子一緒に結構楽しみ心身共に暖まりました。ここまですべて子供達だけで企画し実行したのですから随分成長したものです。

その後は程よくお腹もすいたので今度は母親からのお返しの豚汁、これは本当に熱くておいしくて、とても、とても！！

これで役員の仕事がまた一つ終わったと帰宅し、玄関脇の夕刊に目をやると一面湾岸戦争、これからの日本、これからの地球、子供達の将来。

今、本当に何が大切なのかを考えないと……………。

(子離れに一抹の寂しさを覚え始めたS. A)